

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (16)	『重度化した場合の対応に係る指針』を作成しており、訪問看護ステーションとの連携もとれているが、終末期ケアに関する職員の教育が今後も継続して必要である。	職員全員が終末期ケアに関する知識を高める。	・訪問看護にも協力をお願いし、終末期についての勉強会を行う。 ・終末期ケアについて、施設外研修の受講及び施設内でも研修を行い、知識を身につける。	12ヶ月
2	36 (18)	プライバシーには留意しているが、難聴等により職員の声が聞き取りづらい方への排泄の声かけがつい大きくなってしまい、プライバシーへの配慮が不十分である。	排泄に限らず利用者様お一人お一人のプライバシーの確保を徹底する。	・プライバシーについての研修を行う。 ・聞き取りづらい方への排泄誘導について現状を振り返り、各ユニットでカンファレンスを行い、プライバシーを配慮した誘導方法を考え実践していく。 ・一人ひとりの尊重とプライバシーの確保が常にできるよう職員同士で意識を高めあっていく。	12ヶ月
3					月
4					月
5					月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。